

「いじめ」 しないさせないゆるさない!

いじめは、決して許されることではありません。しかし、どの学校でも、どの子どもにも起こり得る問題です。いじめを生まないためには、いじめを許さない厳しい目と、子どもの小さなサインも見逃さない温かな目を持って、対応することが大切です。

誰もがいじめる側、いじめられる側になる可能性があります!
あなたのお子さんをみつめてみましょう。



いじめがあつて知らないよ
何もしてないから、関係ないよ

いじめがあつて知ってるけど、何もしてないんだからいいでしょ

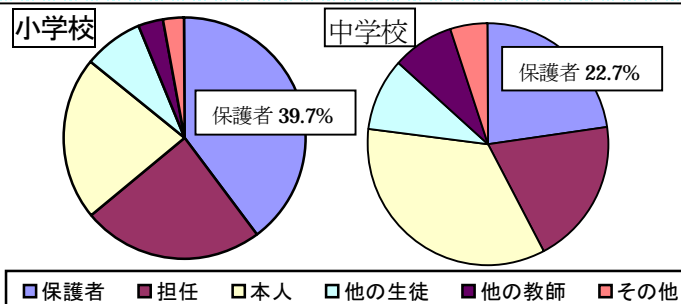
かわいそうだとは思いますが、自分がいじめられたらいやだから

.....

いじめられる方にも問題があるんだから、しかたないよ

つい、いじめたくなるんだおもしろいし、すっきりするし...

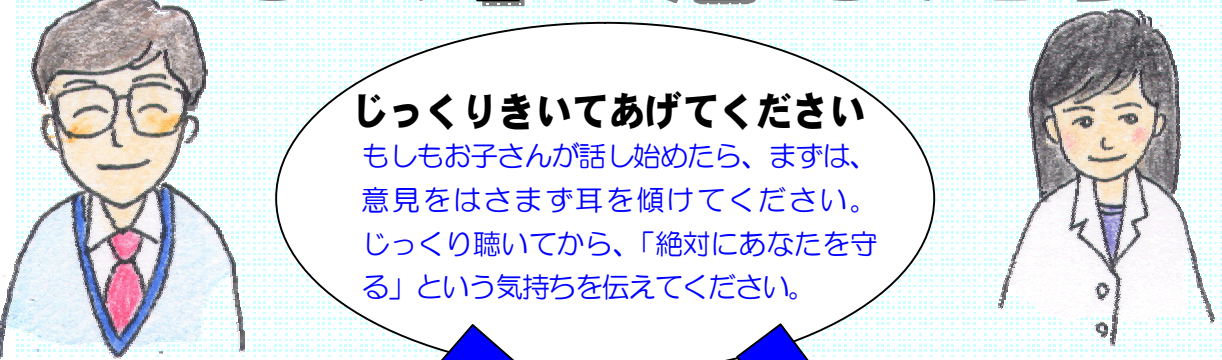
いじめの発見には家庭の協力が必要です



いじめのサインは見えにくいので複数の目で見守る必要があります。特にいじめ発見のきっかけは、「保護者からの訴え」が全体の約3割を占めています。いじめの早期発見のためには、保護者の理解と協力が必要です。

いじめ発見のきっかけ 生徒指導上の諸問題の現状と文部科学省の施策について (H17年度) より

「いじめ」と感じたら...



じっくりきいてあげてください
もしもお子さんが話し始めたら、まずは、意見をはさまず耳を傾けてください。じっくり聴いてから、「絶対にあなたを守る」という気持ちを伝えてください。

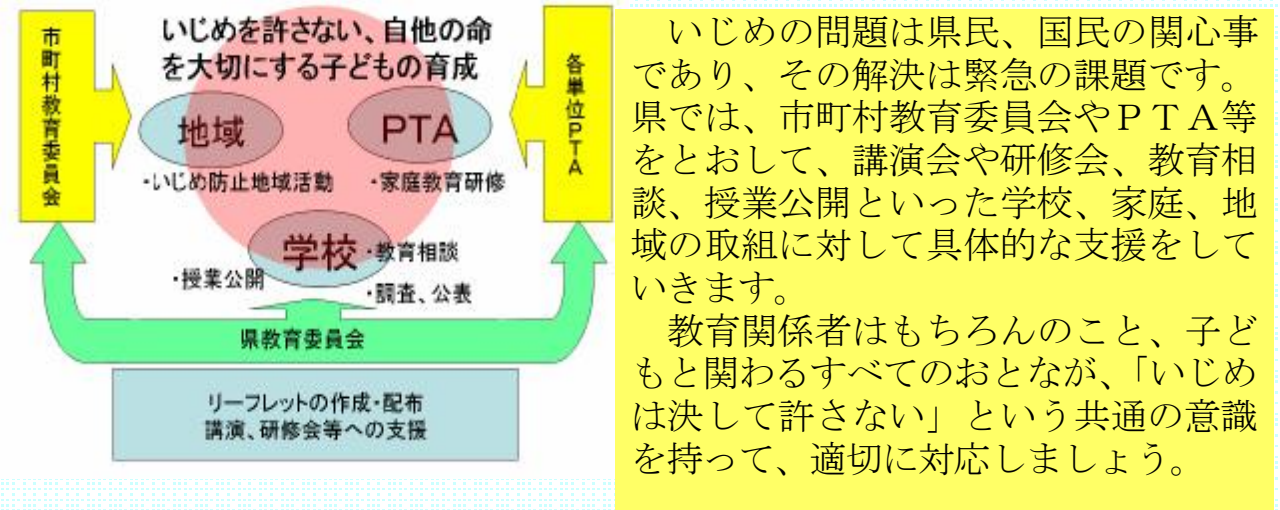
学校に相談してください
学校では、担任はもちろん、校長、教頭、養護教諭、スクールカウンセラー等が内容に応じて対応します。

相談できる機関があります
学校に相談しにくい、他の意見も聞いてみたいというときには、下記の相談機関が承ります。

子どもホットライン24(24時間相談員が対応します)

福岡地区 092-641-9999	北九州地区 0949-24-3344
北筑後地区 0942-32-3000	南筑後地区 0942-52-4949
筑豊地区 0948-25-3434	京築地区 0979-82-4444
福岡市(福岡市子ども総合相談センター) 092-833-3000	
北九州市(北九州市子ども相談ホットライン) 093-881-4152	

※ 名前等を言わなくても相談できます。秘密は厳守されます。
※ 相談できずに悩んでいる人が身近にいたら、代わりにお電話ください。



福岡県教育委員会

小さなサインも見逃さない！

いじめられている子のサインをキャッチ

いじめられている子は、家族に心配をかけたくないという思いから、自分の口で打ち明けない場合も多いと思われます。しかし、何らかのサインを出していることが考えられます。いじめを早期に発見するために、下の項目を参考にチェックしてみてください。

日常生活の変化

- 理由のはっきりしない衣服の汚れや破れ、すり傷やあざなどがある。
- 登校時刻になると、身体の不調を訴え登校をしづらくなった。
- 食欲が急に落ちる、寝つきが悪い、笑顔が減る。
- 意味なく夜更かしし、極端に寝起きが悪くなった。
- 死や非現実的なことに関する本やインターネット等の情報に関心を持つようになった。
- 「どうせ自分はだめだ」などの自己否定的な言動を口にするようになった。
- 妙ににこにこしたり、気をつかいすぎたりすることが多くなった。

持ち物の変化

- 持ち物や勉強道具などがなくなったり、落書きをされたりしている。
- カッターナイフなどの刃物をカバンやポケットに入れている。
- 家庭から品物やお金を持ち出したり、必要以上にこづかいを要求したりするようになった。

友人関係の変化

- 親しかった友達が遊びに来なくなったり、遊びに行く回数が減ったりした。
- 電話に出たがらなかったり、友達の誘いを断ったりするようになった。
- 学校や友達に対する不平や不満を口にするようになった。
- 転校したい、学級をかわりたい、部活動をやめたいなどの話をするようになった。

家族との関係の変化

- ささいな事で怒ったり、家族に八つ当たりしたりするようになった。
- 家族との会話が減ったり、意図的に学校や友達の話題を避けたりするようになった。

いじめる側からの発見も必要です

いじめをしていることは、いじめられていること以上に、外から分かりにくい場合が多いと思われます。いじめを知られないように反対の行動をとることもあります。いじめはどこにでもあるという意識で、子どもの様子の小さな変化を見逃さない注意が必要です。

- 買ってやっていないものを持っている。
- お金のつかい方が荒くなった。(こづかい以上のお金を使っている)
- 親の言うことを聞かなくなり、反抗的態度をとるようになった。
- 親が部屋に入るのを極端に嫌がるようになった。

※ 項目の中には思春期のどの子にも表れるものもあります。大切なことは、子どもの小さな変化を見逃さないことです。

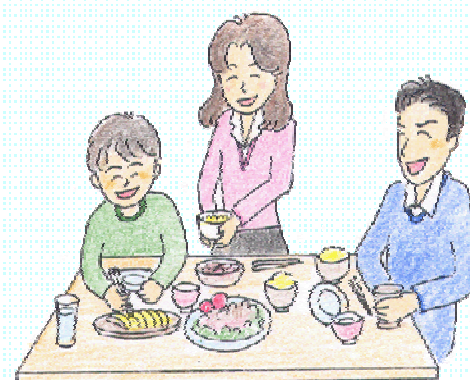
家庭において努めたいこと

○子どもと過ごす時間をつくる

親と子どもの時間が合わないために、一緒に過ごす時間が少なくなっていないですか。学年が進んでも家族と過ごす時間は大切です。

家族で少しずつ調整して、食事の時間を合わせたり、就寝前などの時間を利用したりして、学校の話や友達、将来について話す時間をつくりましょう。

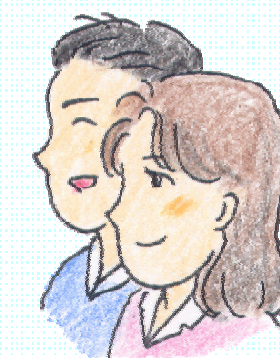
テレビのスイッチを切るだけで、時間が作れることもあります。



○子どもの様子にアンテナを張る

子どもが今、何に関心を持っているか、どんな勉強の仕方をしているのか、読んでいる本や、学習ノート等を見る機会を持ちましょう。

学校の宿題で、親の意見や感想を求められたときが、子どもと話し合うよい機会となります。



○おとな同士の関係をつくる

学校行事やPTA活動、地域の行事などに積極的に参加し、保護者同士、おとな同士の関係をつくりましょう。

多くのおとなの目で、子どもを見守る地域環境をつくりましょう。

